

この紙のゴール：冠詞を読み手の視点から選び、形式主語の it と one / it を使い分けられる / 選んで答える版。じっくり読めば必ず解けます。

1 場面に合うほうを○でかこもう。

知識・技能

各3点

(1) 友だちに、はじめて見かけた犬の話をして	This morning I saw (a / the) big dog in front of the station.
(2) 試験について知りたくて	Could you give me some (information / informations) about the exam?
(3) 断るのが苦手だと伝えて	I found (that / it) hard to say no.
(4) ペンが壊れたことを伝えて	My pen is broken, so I have to buy (it / one).

2 対話を通じるように（ ）に英語を書こう。

知識・技能

各2点

語群： the / it / a (1回ずつ、正しい形にして使う。記入式の版は a / an / the / it から選ぶ)

A: I found () old camera in my grandfather's room.
B: Really? Was () camera still working?
A: Yes. My grandfather said I could keep ().
B: That's great. You should take it to the school festival.

3 自分のことを書こう。

思考・判断・表現

2点

自分にとってむずかしいことを、It で始めて英語1文で書こう。
書き出しヒント：It is _____ for me to _____.

4 同じ chicken でも、a がつくかどうかで食べたものが変わります。

思考・判断・表現

各2点

どちらも正しい英文です。
A I ate a chicken.
B I ate chicken.

- ① ふつうの夕食の話として自然なのはどちらですか。記号で答えよう。
A B
- ② なぜそう言えるのですか。理由を書こう。
ヒント：「a がつくと（ ）として数えることになるので……」の形で書く

解答

1		2	
(1)	a	(1)	an
(2)	information	(2)	the
(3)	it	(3)	it
(4)	one		

3（解答例） It is difficult for me to get up early on Sundays.

4 ①は正答が1つ。②は一例で、趣旨が合っていれば表現は問いません

①	B	数えない形にすると、材料としての鶏肉を指す。
②	「a がつくと1羽の生き物として数えることになるので、Aは鶏を丸ごと1羽食べたことになる。Bは数えていないので、材料としての鶏肉を指すから。」（一例）	冠詞は名詞の飾りではなく、それを1つ、2つと切り出せる形で見ているかどうかの合図—これがこの単元の芯そのもの。「不可算名詞だから」とだけ書いた答案には、ではなぜAも正しい英文なのかを1行返す。

採点のめやす

- ・大問1の正解は(1)a・(2)information・(3)it・(4)one（発展版は a new one）—4問を同じ判断ひとつでは書けません。「冠詞の単元だから the」と当てにいった答案は(1)が落ちます。返却時は(1)を取り上げ、読み手がまだその犬を知らないことに1分使ってください。
- ・大問1(1)に the と書いた答案には、「どの犬か、聞いている人に分かりますか」と問い返してください。冠詞を規則ではなく相手の視点で選ぶ、というこの単元の芯がここにあります。
- ・大問1(3)に that と書いた答案が出ます。場所取りができるのは it だけで、that は「さっき言ったこと」を指す語だと1行添えてください。
- ・大問1(4)に it と書いた答案には、それだと「壊れたそのペンを買う」ことになると返してください。one と it の差は日本語では見えないので、ここで1回はっきりさせておきます。
- ・大問2の語群は基礎版だけにあり、3語とも並びを空所の順とわざとずらしてあります（順番で当てられないように）。標準版・発展版は語群なしの記入式で、(1)に a と書いた答案は不正解です—old が母音で始まるので an になります。
- ・大問3は形式主語の it で書けていれば内容は問いません。for me の位置とto 不定詞を見るところにしてください。発展版は2文で1つの解答です—2文目は理由なので、It で始めなくてかまいません。
- ・大問4は暗記では答えられない問いです。AもBも正しい英文なので、形だけを見ても選べません。②は「a をつけると1羽として数えることになる」の趣旨が書けていれば表現は問いません。
- ・帯ごとの扱い：学び直し帯は見取り図が形式主語と one / it まで届いていないので、大問1(3)(4)と大問2(3)を外して16点満点で扱ってください。語群も the / a の2語にして配ってください。大問4は数えるかどうかの話なので、この帯でもそのまま出せます。
- ・基礎固め帯は形式主語まで扱うので、大問1(4)と大問2(3)を外して19点満点です。
- ・実力帯・入試帯は24点満点で扱えます。入試帯では大問3の2文目まで冠詞が乱れていないかを見てください。
- ・10分で最後まで届かないクラスは、大問3を宿題に回すか、大問4だけを次の時間の導入に使ってください。